

ペガメント規格書

DKGL 専用硬化剤

株式会社 ロックウール断熱協会

ペガメント

株式会社 ロックウール断熱協会

【特徴と用途】

ペガメントはエチレン酢酸ビニル系エマルジョン型接着剤で、耐水性・接着性・水希釈性・コンクリートへの浸透性が良く、吹き付けロックウール用の硬化剤として開発されたものである。

【物性－１】

主成分	エチレン酢酸ビニル共重合体エマルジョン
外観	乳白色液体
全固形分	45 ± 1 %
p h	5 ～ 6
密度	1.06 g/cm ³
粘度	1000 ± 200 mPa・s(cP)
最低造膜温度	0℃
凍結安定性	－10℃（5サイクル合格）
湿潤粘着性	高い
機械安定性	優れている

【物性—2】

セメント混和用ポリマーディスパージョン（JIS A 6203による試験結果）

試験項目（単位）	試験結果	品質基準
曲げ強さ（N/m ² ）{kgf/cm ² }	8.0{ 82}	5.0{ 51}以上
圧縮強さ（N/m ² ）{kgf/cm ² }	29.2{298}	15.0{153}以上
接着強さ（N/m ² ）{kgf/cm ² }	1.7{ 17}	1.0{ 10}以上
吸水率（%）	9.4	15.0 以下
透水量（g）	6	20 以下
長さ変化率（%）	0.115	0～0.150

【使用上の注意】

- ◆ ペガメントがサッシュなどに付着した場合は、直ちに濡れ雑巾で拭き取って下さい。
- ◆ 強い直射日光や風雨等を受ける恐れのある場所は、シートを張るなどして養生して下さい。
- ◆ 製品に使用する水は、水道水等の清水を使用して下さい。
- ◆ 使用後の器具は、水で洗淨して下さい。
- ◆ 気温が3℃以下になる場合は、施工を避けて下さい。
- ◆ 製品は、製造年月日を確認し、6ヶ月以上経過した物は使用しないで下さい。

【使用の効果】

- 1) ペガメントを下地に塗布することにより、DKGLの下地に対する接着力を高めることを目的としています。
- 2) ペガメントをセメント・スラリーに混入することにより、セメントやロックウール繊維の物性を改善します。

◆ペガメントを下地に使用した効果は、次の3点です。

- ①セメントとのなじみが良いので、コンクリート下地の乾湿にはあまり影響されません。
- ②DKGL 吹付下地に対する吸水を調整し、セメントの水和反応を十分に促進させ、接着力を向上させます。
- ③耐水性や対アルカリ性に優れていますので、長期間安定した接着力を保持します。

【工法の注意点】

- ①下地処理： レイタンス等の下地の脆弱層や汚れ等を除去する下地処理をして、健全な下味状態として下さい。
- ②希釈液の塗布： 80ℓの清水に3.2ℓのペガメントを希釈したペガメント水溶水を、スプレーガンまたはローラーにて下地面に均一に塗布して下さい。ALCパネル等の「吸水の激しい下地」に対しては、ペガメント水溶水を2～3回塗布して下さい。
1回の塗布量は、20g/m²以上を目安とする。
- ③DKGL 吹付： ペガメント水溶水を塗布して造膜後、DKGLの吹付を開始して下さい。
造膜後の粉塵などの付着は、接着力を阻害しますので、造膜後はなるべく早期にDKGL吹付を開始して下さい。
- ④表面硬化： ②のペガメント水溶水に対し、白色セメント40kgを混合したセメント・スラリーをDKGL表面に吹付ける。吹付に必要とする使用量は、「吸水の激しい下地」に対する塗布量と同等とする。